

自由金利型定期預金 規定 (大口定期預金 非自動継続型)

| 変更後 | 変更前 |
|--|---|
| <p>1. (預金契約の成立) 当金庫は、お客様から当金庫所定の自由金利型定期預金(以下「この預金」といいます。)の申込書の提出を受け、当金庫がこれを承諾したときにこの預金に係る契約が成立するものとします。</p> <p>3. (利 息)</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) (略)</p> <p>(3) 債権保全の必要があるとき、その他当金庫が満期日前の解約を拒絶すべき事由があると認めるときは、この預金は満期日前に解約できません。</p> <p>(4) 当金庫がお客様からの解約請求に応じる場合、当金庫が債権回収のためにこの預金を解約する場合、反社会的勢力の排除に係る条項により解約する場合など、この預金を満期日前に解約する場合には、その利息(以下「期限前解約利息」といいます。)は預入日から解約日の前日までの日数(以下「預入日数」といいます。)について次の利率によって計算し、この預金とともに支払います。ただし、中間払利息が支払われている場合には、その支払額(中間払日数が複数ある場合は各中間払利息の合計額)と期限前解約利息との差額を清算します。</p> <p>① 預入日の1か月後の応当日の前日までに解約する場合には、次のA、BおよびC(BおよびCの算式により計算した利率の小数点第4位以下は切捨てます。ただし、C. の算式により計算した利率が0%を下回るときは0%とします。)のうち、最も低い利率。</p> <p>A. 解約日における普通預金の利率</p> <p>B. 約定利率－約定利率×30%</p> <p>C. 約定利率 — $\frac{(\text{基準利率}-\text{約定利率}) \times (\text{約定日数}-\text{預入日数})}{\text{預入日数}}$</p> <p>なお、基準利率とは、解約日にこの預金の元金を表面記載の満期日まで新たに預入れずとした場合、その預入れの際に適用される利率を基準として算出した当金庫所定の利率をいいます。</p> <p>② 預入日の1か月後の応当日以後に解約する場合には次のAおよびBの算式により計算した利率(小数点第4位以下は切捨てます。ただしBの算式により計算した利率が0%を下回るときは0%とします。)のうち、いずれか低い利率。</p> <p>A. 約定利率－約定利率×30%</p> <p>B. 約定利率 — $\frac{(\text{基準利率}-\text{約定利率}) \times (\text{約定日数}-\text{預入日数})}{\text{預入日数}}$</p> <p>(5) この預金の付利単位は1円とし、1年を365日として日割で計算します。</p> <p>4. (規定の変更等)</p> <p>(1) この規定の各条項は、金融情勢その他の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、民法第548条の4の規定に基づき変更するものとします。</p> <p>(2) 前項によるこの規定の変更は、変更を行う旨および変更後の規定の内容ならびにその効力発生時期を、店頭表示、インターネットまたはその他相当の方法で公表することにより、周知します。</p> <p>(3) 前2項による変更は、公表の際に定める相当な期間を経過した日から適用するものとします。</p> <p>この預金には、本規定のほか、別に定める「定期預金共通規定」が適用されるものとします。</p> | <p>(新設)</p> <p>2. (利 息)</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) (略)</p> <p>(新設)</p> <p>(3) 当金庫がやむをえないものと認めてこの預金を満期日前に解約する場合には、その利息(以下「期限前解約利息」といいます。)は預入日から解約日の前日までの日数(以下「預入日数」といいます。)について次の利率によって計算し、この預金とともに支払います。ただし、中間払利息が支払われている場合には、その支払額(中間払日数が複数ある場合は各中間払利息の合計額)と期限前解約利息との差額を清算します。</p> <p>① 預入日の1か月後の応当日の前日までに解約する場合には、次のA、BおよびC(BおよびCの算式により計算した利率の小数点第4位以下は切捨てます。ただし、C. の算式により計算した利率が0%を下回るときは0%とします。)のうち、最も低い利率。</p> <p>A. 解約日における普通預金の利率</p> <p>B. 約定利率－約定利率×30%</p> <p>C. 約定利率 — $\frac{(\text{基準利率}-\text{約定利率}) \times (\text{約定日数}-\text{預入日数})}{\text{預入日数}}$</p> <p>なお、基準利率とは、解約日にこの預金の元金を表面記載の満期日まで新たに預入れずとした場合、その預入れの際に適用される利率を基準として算出した当金庫所定の利率をいいます。</p> <p>② 預入日の1か月後の応当日以後に解約する場合には次のAおよびBの算式により計算した利率(小数点第4位以下は切捨てます。ただしBの算式により計算した利率が0%を下回るときは0%とします。)のうち、いずれか低い利率。</p> <p>A. 約定利率－約定利率×30%</p> <p>B. 約定利率 — $\frac{(\text{基準利率}-\text{約定利率}) \times (\text{約定日数}-\text{預入日数})}{\text{預入日数}}$</p> <p>(4) この預金の付利単位は1円とし、1年を365日として日割で計算します。</p> <p>3. (規定の変更等) 本規定の各条項は、金融情勢その他諸般の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、店頭掲示、当金庫ホームページ、およびその他相当の方法で公表することにより変更できるものとします。</p> <p>この預金には、本規定のほか、別に定める「定期預金共通規定」が適用されるものとします。</p> |